

生徒会選挙



副総務委員長 当選
1年田川 蒼一郎さん



副総務委員長 信任
2年伊藤 菜の花さん

生徒会選挙が12月20日(火)に実施されました。11月30日(水)に公示され、立候補受付・選挙運動と続き、立候補者発表と同日に実施されました。



諫早市選挙管理委員会による選挙説明

各クラスの選挙管理委員が各種書類の準備・説明・演説会準備・投票票と、多くの仕事をしっかりと果たしました。立候補者は、マイクに向かって自分の思いを述べました。それぞれすばらしい主張で、内容の濃い演説でした。また、諫早市選挙管理委員会から、実際に国政選挙等で使用する投票箱等をお借りして、本格的に投票しました。また、同委員会から選挙につ



総務委員長 当選
2年城 咲太朗さん

いての説明も受けました。1年生は初めての経験で、投票も戸惑う様子が見られましたが、全員がこれからの附属中学校のために真剣に考えて投票しました。



おめでとう

12月24日(水) 終業式後に表彰伝達式がありました。(敬称略)

テニス 長崎県中学校新人大会
男子団体 第3位
女子団体 第3位
九州大会へ出場(男女)

バスケットボール 諫早市中学校総合体育大会 新人大会
男子 第3位
九州大会へ出場

剣道 第34回諫早市中学校・地区高等学校学年別剣道大会
中学1年 準優勝
松武 歩

税の作文 諫早税務署管内税務貯蓄組合連合会会長賞
藤川 佑成
小森 寛己
金井 孝頼

「初心忘るべからず」は現在「はじめの志を忘れてはならない」という意味で使われています。この言葉は室町時代の能の大成者である世阿弥の言葉ですが、著書である「花鏡」の中には、是非の初心忘るべからず。時々の初心忘るべからず。老後の初心忘るべからず。と書かれていて、それぞれを詳しく解説しています。その内容を要約すれば、「何もわからない時の初心を忘れるな。」「人生の時々の初心を忘れるな。」「老後の初心を忘れるな。」と

「初心忘るべからず」は現在「はじめの志を忘れてはならない」という意味で使われています。この言葉は室町時代の能の大成者である世阿弥の言葉ですが、著書である「花鏡」の中には、是非の初心忘るべからず。時々の初心忘るべからず。老後の初心忘るべからず。と書かれていて、それぞれを詳しく解説しています。その内容を要約すれば、「何もわからない時の初心を忘れるな。」「人生の時々の初心を忘れるな。」「老後の初心を忘れるな。」と

7年)から18回大会(2006年)まで連続入賞を果たし、その間に3位3度、2位1度、全国制覇2度の上位入賞を遂げています。これはまさに偉業です。皆さんは「今年も当然全国に行く。」と思ったかもしれませんが、選手は決してそうは思っていないからいいでしょう。単に「去年と同じ練習をしてきたから」「先輩たちと同様の練習をしてきたから」、去年と同じ結果を得られるほど甘い結果はないからです。毎年がその年のメンバーの「初めて」なのです。毎年毎年「初めて」をバリエーションアップしていかねば、これだけの実績をあげ続けることなど到底できはしないのです。昨年大活躍した大谷選手や山本選手も、インタビューでは昨年の活躍については淡々と語っていました。彼らにとっては、もう過去の事なのでしよう。偉業を成し遂げる人は、「初心」を止めるようなことは、決してしないのだと感じます。皆さんも、「初めて」の中一、中二、中三を生きています。二回目はありませぬ。また、新たなメンバーでの生徒会も発足します。常にその時その時の「初心」を忘れることなく、自分の可能性にチャレンジし続けましょう。

自分の可能性にチャレンジし続けよう!

銅賞	川上 朱莉	銅賞	望 望
1年	本多 まゆ	1年	鎌塚 望
1年	山口 愛衣	2年	増山 璃乃
2年	牧島 優愛	3年	石橋 航二郎
1年	鎌塚 望	3年	木下 咲良
1年	小森 寛己	3年	草野 莉緒
2年	藤川 佑成	3年	石橋 航二郎
1年	小森 寛己	3年	望 望
2年	金井 孝頼	3年	望 望